ふくらむ紙ランタン

展開図　A4・横・100%（実際のサイズ）で印刷してください。飾るだけ：電気・火は使いません



帯の番号 1〜12（下の輪に印刷）。切れ目（黒の破線）は上下の輪の手前でとめる。



← 持ち手（のりしろの灰色の部分を内がわへ折ってはる）

せんの見かた　– – – –· 切る（黒の破線）　—·— 山折り（一点鎖線）　– – – – 谷折り（破線）　のりしろ（うすい灰色）

作り方・完成図

つかうもの

道具　はさみ・のり・定規・えんぴつ（テープがあると仮どめに便利）

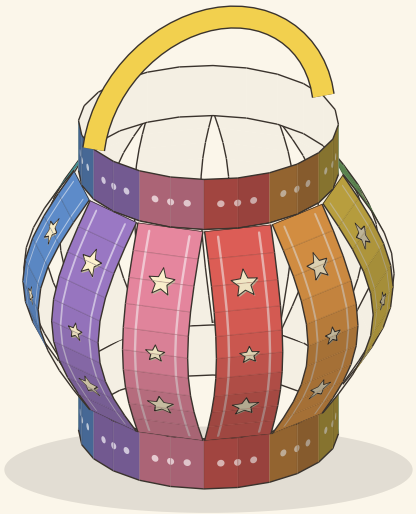
用紙　A4の厚めの紙（画用紙など）を横向きで。うすい紙だとふくらみにくい

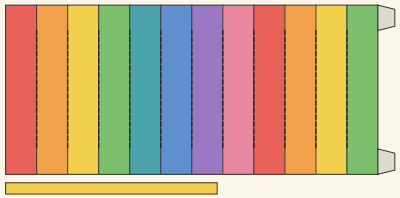
印刷　100%（実際のサイズ）。拡大・縮小しない

安全の一言

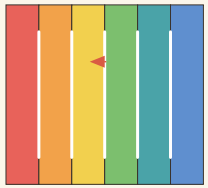
はさみを使うときは、大人の人といっしょに。ランタンは飾るだけで、電気・火・電池は使いません。

完成図

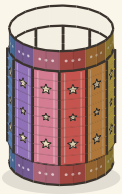




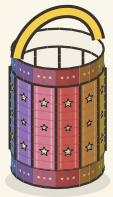
1 切る線（黒の破線）で、紙のまわりと持ち手を切りとります。切れ目（短い黒の破線 11 本）は、上下の輪の手前までハサミを入れます。



2 のりしろA・B（山折りの線）を、うら側へ折ります。



3 紙をくるっと丸めて筒にし、のりしろAをA' の内がわに、BをB' の内がわにのりではります。



4 持ち手の両はしののりしろC・Dを内がわへ折り、輪の向かい合うC'とD' のしるしの内がわにはります。



5 上と下の輪を両手でそっと近づけると、帯がふくらんでランタンになります。



6 できあがり。つるして、または机に置いて、かざります。電気・火は入れません。